

2012年3月期 決算の概要・業績見通し
および

JFE商事グループ第三次中期経営計画概要について

2012年4月26日

JFE商事 株式会社

2012年3月期決算概要について

2012年4月1日付けで、JFE商事ホールディングス(株)は、当社を
存続会社として、合併致しました。そのため、本資料につきましては、
当社がJFE商事ホールディングス(株)に代わって、
2012年3月期におけるJFE商事ホールディングス(株)の連結決算概要を
記載しております。

なお、2013年3月期業績予想は、JFE商事(株)の連結業績予想を記載して
おります。

【2012年3月期 決算の概要・業績見通し】

1. JFE商事ホールディングス(株) 2012年3月期連結決算のポイント
2. 連結損益計算書
3. 連結貸借対照表要約
4. 連結キャッシュ・フロー計算書要約
5. セグメント情報
6. 売上高・経常利益推移(連結)
7. JFE商事(株)2013年3月期連結業績予想及び配当予想

【JFE商事グループ第三次中期経営計画概要】

8. JFE商事グループ第三次中期経営計画(12～14年度)について

売上高は、主に鉄鉱石・石炭価格が過去最高値となるなど、鉄鋼主原料価格の高騰が続いたこと、及びそれに伴う鋼材価格の上昇により、前期比で751億円増収の2兆866億円。

経常利益は、急激な円高の影響等により鋼材輸出が低調であったこと、公共投資の減少により土木・建築分野の販売も低調に推移したこと、また保有不動産の早期売却に取り組んだこと等により、前期比65億円減益の173億円。

当期純利益は、経常利益65億円の減益等により、前期比15億円減益の121億円。

2. 連結損益計算書 (JFE商事ホールディングス)

(億円)

	第3Q累計 (4-12月)	第4Q (1-3月)	当期	前期	増減(当期-前期)	
					増減	増減率
売上高	15,999	4,867	20,866	20,115	751	4%
売上総利益 (利益率)	524 (3.3%)	139 (2.9%)	663 (3.2%)	732 (3.6%)	69 (0.5%)	9%
販管費	371	124	495	498	3	1%
営業利益	153	15	168	234	66	28%
営業外損益	8	3	5	4	1	
経常利益	161	12	173	238	65	27%
特別損益	-	1	1	17	18	
税引前 当期純利益	161	13	174	221	47	21%
当期純利益	109	12	121	136	15	11%

売上高・売上総利益

JFE商事(単体)	+ 578	42
・鉄鋼	+ 58	15
・原材料、資機材	+ 503	5
・不動産 他	+ 17	22
建材系分社3社	69	6
国内子会社	+ 75	10
海外子会社	+ 351	3
連結修正	168	3
HD、分割会社(連結)	16	5

販売費及び一般管理費

一般経費の減 他

営業外損益

受取配当金 他

特別損益

引当金戻入 他

3. 連結貸借対照表要約 (JFE商事ホールディングス)

(億円)

	当期末	前期末	増減
総資産	5,765	5,713	52
純資産	1,237	1,174	63
有利子負債	1,351	1,071	280
有利子負債倍率 (DER)	1.14倍	0.95倍	0.19倍
自己資本比率	20.6%	19.7%	0.9%

総資産

前期末比52億円増の5,765億円。

現預金 35
 売上債権 +123
 棚卸資産 +21 他

純資産

《 63億円増の内訳 》

~増加~ 当期純利益 +121億円
 ~減少~ 期末配当 23億円
 中間配当 12億円
 評価・換算差額 22億円
 少数株主持分 1億円

有利子負債

立替の増による運転資金の増加等により、前期末比280億円増の1,351億円。

有利子負債倍率(DER)

= 有利子負債 ÷ (純資産 - 少数株主持分)

自己資本比率

= (純資産 - 少数株主持分) ÷ 総資産

4. 連結キャッシュ・フロー計算書要約 (JFE商事ホールディングス)



	当期
営業活動によるCF	236
投資活動によるCF	64
フリー・キャッシュ・フロー (FCF)	300
財務活動によるCF	261
現金同等物の換算差額	4
現金及び現金同等物の増減	35
現金及び現金同等物 (期首)	315
現金及び現金同等物 (期末)	280

営業活動によるCF

税前利益	+ 174	
減価償却	+ 54	
営業立替の増	333	
在庫の増	37	
法人税等の 支払及び還付	101	他

投資活動によるCF

有形固定資産の取得	43	
無形固定資産の取得	10	
貸付けによる支出	17	他

財務活動によるCF

借入金等の増減	+ 301	
配当金の支払	35	他

5. セグメント情報 ~ 鉄鋼および鉄鋼周辺 ~ (JFE商事ホールディングス)

(億円)

	売上高			経常利益		
	当期	前期	増減	当期	前期	増減
鉄鋼及び鉄鋼周辺	20,474	19,724	750	196	226	30

【経常利益の減 30億円の主な内訳】 ~ 鉄鋼および鉄鋼周辺 ~

JFE商事 13

・国内鉄鋼：数量 + 25千トン、単価 + 5.0千円/トン

・鉄鋼貿易：数量 498千トン、単価 + US\$101/トン US\$平均レート 86円/US\$ 79円/US\$

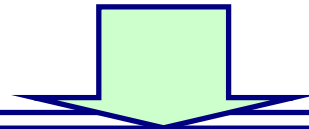
グループ会社 20

・国内子会社： 6

・海外子会社： 3

・持分法適用会社： 11

連結修正 + 3



円高の影響等により鋼材輸出の数量が減少したことや、国内子会社及び持分法適用会社の収益が低調であったことなどにより、経常利益は前期比30億円の減益。

5. セグメント情報 ~ 鉄鋼以外 ~ (JFE商事ホールディングス)

セグメント	売上高			経常利益			主な内訳
	当期	前期	増減	当期	前期	増減	
食 品	258	250	8	7	7	0	国内において韓国産第3のビールや畜肉缶詰商品等の震災関連需要があったこと、海外において水産缶詰販売が好調であったこと等により増収。しかしながら海外における仕入価格の高騰の影響等を受け経常利益は前期並みに推移。
エレクトロニクス	116	137	21	2	6	4	東日本大震災やタイ洪水の影響により、実装機器部門の客先で設備投資案件の凍結や延期があったこと、半導体部門において客先の製造工程の遅れによる減産影響を受けたこと等により、前期比減収減益。
不動産他 ()	18	4	14	32	1	31	保有不動産の圧縮に前向きに取り組んだ結果、前期比31億円の減益。

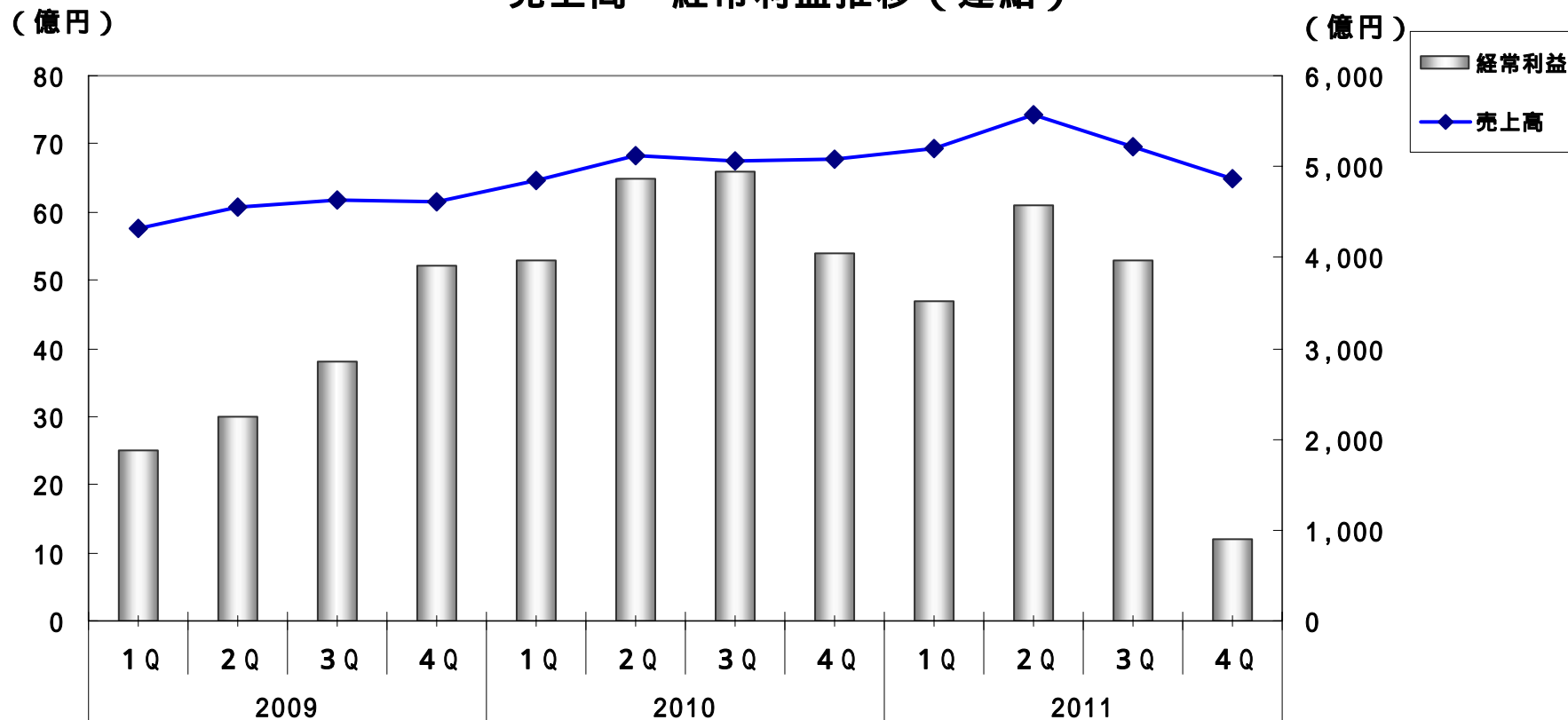
2012年3月期第3四半期より、川商リアルエステートはJFE商事と合併いたしました。セグメント情報の構成につきましては、従前より変更はございません。

6. 売上高・経常利益推移 (JFE商事ホールディングス)

～ 過去3年度四半期単位 ～



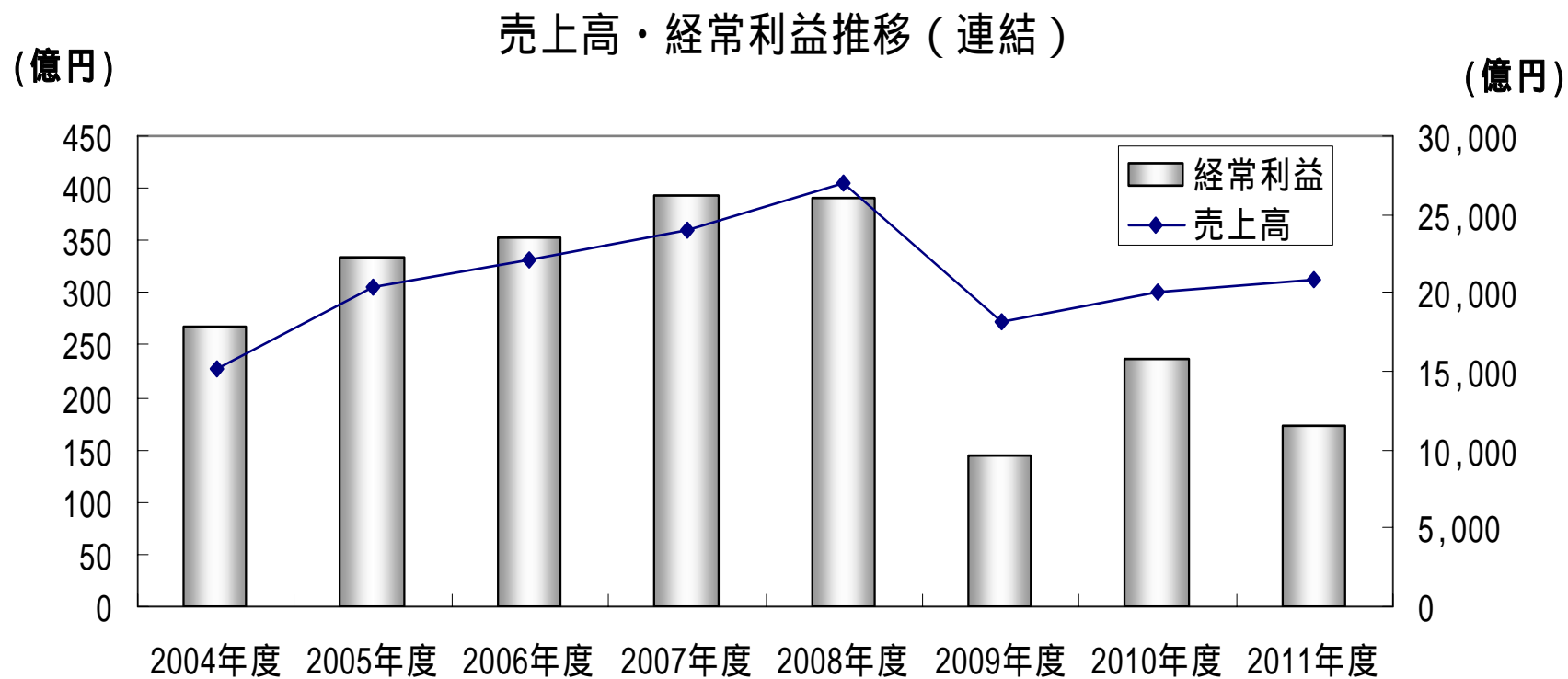
売上高・経常利益推移 (連結)



(億円)

	2009年度				2010年度				2011年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	4,320	4,551	4,629	4,619	4,840	5,126	5,065	5,084	5,201	5,573	5,225	4,867
経常利益	25	30	38	52	53	65	66	54	47	61	53	12

6. 売上高・経常利益推移 (JFE商事ホールディングス) ～各年度推移～



	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
売上高	15,232	20,411	22,153	24,047	27,066	18,119	20,115	20,866
経常利益	267	334	352	392	390	145	238	173

7. JFE商事(株) 2013年3月期連結業績予想及び配当予想



【概要】

国内では、震災復興需要の本格化により、建材等の需要が増加すると思われる。輸出については、需給バランスの崩れによる市況軟化等の懸念要素はあるものの、引続きアジア新興国の旺盛な需要を背景に、回復基調に向かうと予想される。

一方で、欧州債務危機の拡がりや、金利や為替の動向などについて今後とも、状況を十分に注視していく必要があると考える。

次期の連結業績見通しは、2012年4月から開始する第三次中期経営計画における各施策に取組み、既存事業の拡大や、新たなお客様への拡販などを実現することにより、売上高は2兆1,000億円、営業利益は225億円、経常利益は220億円、当期利益は130億円を見込む。

配当は、次期の業績予想を踏まえ中間配当として5円/株を予定。

7. JFE商事(株)2013年3月期連結業績予想及び配当予想

(億円)

	2013年3月期	2012年3月期 実績	増減額	増減率
売上高	21,000	20,866	134	1%
営業利益	225	168	57	34%
経常利益	220	173	47	27%
当期純利益	130	121	9	7%

1株当り配当 (普通株)	* 中間配当5円/株	10円 (中間配当5円/株 期末配当5円/株)
-------------------------	------------	-------------------------------

* 2013年3月期の配当に関しましては、中間配当において、5円/株を予定。

8. JFE商事グループ第三次中期経営計画(12~14年度)

大きく変化する経済環境や、JFEグループにおける組織再編に伴い、当社が果たすべき役割も変化、拡大してきている中で、新たな地域・分野を開拓し、新たな価値を生み出し続けることで、グループの企業価値向上ならびにお客様との更なる成長を実現するべく、新たな経営ビジョンを設定。
なお、ビジョン達成に向けた行動の基本となる「行動指針」も新たに設定。

【経営ビジョン】

「JFEグループにおいて、先駆けとしてマーケットを切り拓き、
新たな価値創造に挑戦し続ける Value Creating Company を目指す。」

【行動指針】

「開拓」 ~ New Ground ~

・鉄鋼事業のネットワークを基盤に、機動力をもって新たなマーケットを開拓する。

「創造」 ~ New Value ~

・柔軟な発想と構想力で、価値ある機能を提供し、新たなビジネスを創出する。

「協栄」 ~ New Synergy ~

・JFEグループの総力を結集し、マーケットでの存在感を高め、グループのみならずお客様とともに成長する。

8 . JFE商事グループ第三次中期経営計画(12~14年度)

当社グループを取巻く環境が、これまで以上に大きく変化する中、変化の時期をチャンスタイミングと捉え、新たなステージに踏み出し、持続的な成長を成し遂げるために、第三次中期経営計画において、以下の4つの重点経営課題に取り組み、経営ビジョンの実現を目指す。

既存事業の戦略再構築とスピード感をもった攻めの営業

既存事業の生き残り戦略を徹底的に考え抜き実行することで、収益基盤の強化を図る。

鉄鋼事業のネットワークを基盤とした新たなビジネスと付加価値の創造

- ・広い視野でマーケットを俯瞰し、新たなビジネスを創出する。
- ・仕入・加工・販売、あらゆる側面から新たな商権・新たなSCMを構築する。

JFEグループの企業価値向上に向けた商社機能の最大発揮

- ・グループの企業価値向上に貢献するべく、マーケティング・プロジェクトメイキングの機能を発揮する。
- ・サプライチェーンの強化・効率化とグローバル展開を図る。

営業活動の基盤となる経営インフラの更なるレベルアップ

- ・大胆かつ柔軟な人材戦略を構築・実行する。
- ・成長を支える最適組織体制を構築する。
- ・整備を進めてきた各種制度・仕組みの更なるレベルアップを図る。

【取組むべき施策】

鉄鋼部門

お客様ニーズを捉えた徹底的な攻めの営業による面積の拡大。
販売・仕入・加工を含めたSCMの見直し・強化。
JFEグループ総合力を結集した販売体制の強化。
現地取引・外国間取引の更なる拡大および海外店強化。
投資強化等の新たな打ち手によるマーケットの囲い込み。

原材料・資機材部門

JFEグループ全体のプレゼンス向上への貢献。
JFEグループ各社との関係強化による、原料供給・製品販売の強化。
貿易取引・三国間取引の拡大および海外店強化。
資源投資の継続的拡大。

食品・エレクトロニクス事業

【食品事業】

海外事業強化。(安定供給の仕組み作りと、重点市場開拓)

【エレクトロニクス事業】

ファクトリー・ビジネス等の新たな半導体事業モデルの確立、FA機器の海外新規市場開拓。

8. JFE商事グループ第三次中期経営計画(12~14年度)

【投資計画】

＜億円＞ 第二次中期経営計画(実績) 第三次中期経営計画(予定)

投資額 260  450 (150/年)

第三次中期経営計画における投資方針

- 1) 海外マーケットを中心に積極的に投資を実行し、収益基盤の強化を図る。
- 2) 投資枠は、キャッシュフローの範囲内である150億円/年を基本とする。
- 3) 優良かつ大型案件については、DER 1倍を維持できる範囲内で検討する。

8 . JFE商事グループ第三次中期経営計画(12～14年度)

**JFE商事グループ第三次中期経営計画において、
これまでのJFE商事グループ連結経常利益最高益
の更新にチャレンジする。**



JFE

* 本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって見通しと異なる場合があります。